

第183回拡大地方委員会①

3月4日（土）10時～ 県教育会館

国労

蘇我運輸区分会ニュース

議長選出

地本越川副委員長の開会あいさつ、司会進行で始まり、議長には当副分会長の飯高聡明さん（62歳、もうすぐ63歳）が選出され、大会議事が滞りなく進行していきましました。飯高さん、ありがとうございました。



議長あいさつでの職場報告は「コロナ対策の時簡短縮」への考慮？から行なわず、原稿提出による発言参加となりました。次号にて掲載する予定です。

加藤委員長あいさつ

ロシアによるウクライナ軍事侵襲、北朝鮮の相次ぐミサイル発射などの中で、憲法改「正」の機運が高まり、防衛費の大幅増額の画策、安保関連三文書の閣議決定等々、戦争の出来る国作りが着々と進んでいる。



非正規労働者の割合が全労働者の36%、多くの企業はコロナ禍での低迷した経済の中で賃上げどころではないというのが実情かもしれないが労働者の賃金が上が

らなければ景気の回復もなく、経済が好循環せず、今春闘では物価上昇率を大きく上回る賃上げを勝ち取らなければならぬ。

東日本会社では組合未加入者が8割を超え、12の労働組合が乱立している状況で力が分散し、労働者の声も届きにくい状況である。国労が主体的に運動を担うことで大きな力になると確信している。

千葉地本の平成採用組合員3名は、それぞれのポジションで労働運動の灯を職場から消さない取り組みに励んでいる。伝統ある国労運動、

確固たる組織と財政を引き継ぐことが、国鉄採用全組合員の大きな使命であると思う。

地域住民の足を守る運動は、公共交通の事業者であるJR会社一企業の利潤追求を理由とした廃線や他交通機関への転換などを、一方的に実施させるわけにはいかない。「公共」の重要性、そのあり方を問いつけていく。

4月の統一地方選では、勤労国民の権利の向上や、戦争への道を阻止するため、地方議会から力強く構築していくことを目指し取り組みを強化していく。

来賓あいさつ

東日本本部の中谷執行委員・・・安全安定輸送、安心して働き続けられる職場環境を構築し

平成組合員を皆で支えよう！

ていく。不安と低賃金で労働条件も切り詰められている実態。エルダー関係では新幹線運転士が貨物の運転を行ったり、乗務員の駅勤務等が行なわれている。検証を進め、改善を求めていきたい。社員代表選挙では、他労組と協力しての取り組みが多数報告されている。春闘に関して1万3千円の要求に対し、会社は慎重な態度をくずしていない。賃金アンケートの重要性、職場に賃金闘争を根付かせる取り組み。「国労組合員が活躍する職場は明るい職場」という若い人の声もあり、これを大切にしていきたい。

他、統一地方選、組織拡大、運動の継承・・・等。



☆ 暖かく過ごしやすくなりました。反面、この日は特に花粉の飛び方が強烈で・・・！！！！